

教育学専攻のカリキュラムマップ

■カリキュラムマップの見方

この表は専攻ごとに観点別に定めている学位授与方針【ディプロマポリシー（DP）】が修了までに全て達成できるよう、バランスよく履修するツールとなるものです。学位授与方針とは、修了時点での到達目標を表します。一番上には所属する専攻の学位授与方針の番号が記載されており、どの科目で学位授与方針を達成するかを示しています（学位授与方針は下表参照）。

科目名の左側にあるアルファベットと数字は、ナンバリング（科目番号）といて、履修順序の目安となっています。また、○のついている科目は必修科目です。

各年次の履修科目の【○】【●】記号は、各学位授与方針との関連度 [【○】強く関連する / 【●】関連する] を表しています。

【学位授与方針】

知識・理解	DP1	文献や資料を正確に読み、理解する能力を身につけている。
	DP2	関連する教科に関する深い知識を身につけている。
思考・判断	DP3	文献や資料の読解によって得られた理論や考え方などから、教育の現場における個々の具体的な事象に適合する教育方法を演繹的に導き出す実践的な能力を身につけている。
	DP4	教育の現場で得られた調査結果や実践結果から、新たな法則や理論を帰納的に導き出す能力、または既存の法則や理論を検証する能力を身につけている。
関心・意欲	DP5	崇高なるものや美なるものに対する感受性を身につけている。
	DP6	自然界の驚異や秩序、人間のさまざまな営みなどの、関連する教科が対象とする事象に対し、深い愛情と関心を持って接することができる。
	DP7	教育の対象となる者（幼児・児童・生徒・障害者）への愛情と共感を身につけている。
態度	DP8	時代や社会の要請に応えつつも、同時に普遍的な価値を見失わない態度を身につけている。
	DP9	さまざまな教育観があるなかで、幼児・児童・生徒の全人的な成長を優先的に考えることの出来る態度を身につけている。
	DP10	家庭や学校、地域社会における教育事象を、さまざまな学問領域の観点から多面的に批判を加え、自らの教育実践に活かすことの出来る態度を身につけている。
技能・表現	DP11	関連する教科や専門分野に関する熱意を、他者に伝え得る論理性と客観性をもって表現することが出来る。

学年	科目番号	授業科目名	単位数	知識・理解		思考・判断		関心・意欲			態度			技能・表現
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11
2年	502	〇教育学演習Ⅱ	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	501	〇教育学演習Ⅰ	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
1年	476	教科教育学研究 2H (英語科教育)	2	◎	◎	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	475	教科教育学研究 1H (英語科教育)	2	◎	◎	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	474	教科教育学研究 2G (保健体育科教育)	2	◎	◎	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	473	教科教育学研究 1G (保健体育科教育)	2	◎	◎	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	472	教科教育学研究 2F (美術科教育)	2	●	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	471	教科教育学研究 1F (美術科教育)	2	●	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	470	教科教育学研究 2E (音楽科教育)	2	●	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	469	教科教育学研究 1E (音楽科教育)	2	●	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	468	教科教育学研究 2D (理科教育)	2	◎	◎	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	467	教科教育学研究 1D (理科教育)	2	◎	◎	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	466	教科教育学研究 2C (数学科教育)	2	●	◎	●	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	465	教科教育学研究 1C (数学科教育)	2	●	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	464	教科教育学研究 2B (社会科教育)	2	◎	◎	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	463	教科教育学研究 1B (社会科教育)	2	◎	◎	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	462	教科教育学研究 2A (国語科教育)	2	◎	◎	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	461	教科教育学研究 1A (国語科教育)	2	◎	◎	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	452	障害児者教育学研究 2H (発達障害の病理)	2	◎	◎	◎	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	451	障害児者教育学研究 1H (発達障害)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	450	障害児者教育学研究 G (発達障害児者教育方法)	2	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	449	障害児者教育学研究 F (病弱者教育方法)	2	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	448	障害児者教育学研究 E (肢体不自由児者教育方法)	2	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	447	障害児者教育学研究 D (知的障害児者教育方法)	2	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	446	障害児者教育学研究 2C (障害児者教育課程)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	445	障害児者教育学研究 1C (障害児者教育課程)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	444	障害児者教育学研究 2B (障害児者発達・心理)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	443	障害児者教育学研究 1B (障害児者発達・心理)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	442	障害児者教育学研究 2A (障害児者教育理論)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	441	障害児者教育学研究 1A (障害児者教育理論)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	439	幼児教育学研究 2B (保育内容)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	438	幼児教育学研究 1B (保育内容)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	437	幼児教育学研究 2A (保育課程・指導法)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	436	幼児教育学研究 1A (保育課程・指導法)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	435	教育学調査研究 2H (生涯学習)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	434	教育学調査研究 1H (生涯学習)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	433	教育学調査研究 2G (臨床教育)	2	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	432	教育学調査研究 1G (臨床教育)	2	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	431	教育学調査研究 2F (教育相談)	2	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	430	教育学調査研究 1F (教育相談)	2	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	429	教育学調査研究 2E (教育行財政)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	428	教育学調査研究 1E (教育行財政)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	427	教育学調査研究 2D (教育心理)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
426	教育学調査研究 1D (教育心理)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
425	教育学調査研究 2C (教育課程)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
424	教育学調査研究 1C (教育課程)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
423	教育学調査研究 2B (教育方法)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
422	教育学調査研究 1B (教育方法)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
421	教育学調査研究 A (教育職)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
416	教育学文献研究 2C (教育思想)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
415	教育学文献研究 1C (教育思想)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
414	教育学文献研究 2B (日本教育史)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
413	教育学文献研究 1B (日本教育史)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
412	教育学文献研究 2A (西洋教育史)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
411	教育学文献研究 1A (西洋教育史)	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

○：必修科目

【◎】【●】記号は、各学位授与方針（教育目標）との関連度
【◎】強く関連する／【●】関連する を表しています。

教育学研究科 教育学専攻の主要科目

主要科目	特徴
教育学文献研究 1B(日本教育史)	本授業は教育学研究科教育学専攻博士前期課程学位授与方針の1「文献や資料を正確に読み、理解する能力を身につけている。」に基づき、近世の教育史における代表的な人物の生涯と著作を中心に日本教育史に関する文献の講読を行い、各自の教育史研究の意義を深化させ、日本教育史の研究方法を修得する。具体的には、前半で日本教育史の研究方法を検討するための代表的な資料を提示し、後半で受講生の研究テーマや興味関心を踏まえた史料を決定して文献講読を行う。なお、後半の教材には江戸期の教育史料を用いることとする。
教育学調査研究 1D(教育心理)	心理学の研究を進めていく上で必要となる研究方法上の手続きおよび統計的手法を習得することを目指す。研究法・統計手法の理論的な理解を深め、自ら研究を進めるために有効な形で知識を獲得することを目指す。そのために、教育心理学、発達心理学に関する文献購読を行い、これまで教育心理学、は立つ心理学の分野でどのような研究が行われ、どのような知見が積み上げられてきたのかを学ぶ。
教育学調査研究 2G(臨床教育)	ホリスティック臨床教育学の実践についての理解を深める。
幼児教育学研究 2A(保育課程・指導法)	本授業は、日本の保育方法や保育形態のあり方について教育課程や指導法との関わりから考察する。その際、世界のOECD加盟国で近年取り組まれている保育・幼児教育改革にも触れながら、ECEC（乳幼児保育）において期待される保育者の役割と専門性、「保育の質」向上のための必須条件などについて考察する。
障害児者教育学研究 1B(障害児者発達・心理)	授業の到達目標及びテーマ： 1. 自ら調査し、発表、まとめる実践的な力を養う 2. 研究に対する基礎的能力を養う 3. 知的障害、肢体不自由、病弱それぞれの特性理解と支援方法、研究方法の基礎を理解する 4. 研究に関する発表、討論の方法を身につける 5. グループワークでコミュニケーションの力を養う